



○りんご作業 (10/15～11/15)

りんごの作業では、中生種の収穫や晩生種の着色管理が最盛期となっています。

収穫が早すぎると貯蔵中のビターピットの発生が多くなり、遅すぎると油上がりや果肉の軟化の原因となります。地色の抜け具合を確認し適期収穫に努めましょう。

収穫時期に悩んだ場合には、農業振興課に相談いただければ調査に伺います。

収穫した果実は、鮮度保持のために、できる限りその日のうちにJAへの入庫をお願いします。また、りんごの盗難が多くなる時期となりますので、園地での野積みは絶対にやめましょう。

○積雪前の野ネズミ対策

例年、冬期の根雪の期間に野ネズミの被害に悩まれている方も多いかと思います。そこで今回は雪が降り始める前の耕種的防除を紹介いたします。

●野ネズミ被害を受けやすい園地の特徴としては、園地が汚れていることが挙げられます。特に野菜などの畑作物を付している所では、それらの残さをきれいに片づけ清耕にするようにしましょう。また、草生、敷草等を行っている場合は、野ネズミが巣を作りやすいので、積雪前に幹の周囲を清耕にして野ネズミの巣を壊す又は、巣を作るのを防ぎましょう。

●樹幹に対する野ネズミの被害は、成木よりも若木に多い。苗木及び若木に晩秋に地上1m位の高さまで（積雪の多いところでは更に上まで）樹幹に割竹、杉葉、金網、肥料等の空袋、合成樹脂のプロテクターなどの被覆材料を巻きつける。

○効果的な殺そ剤の使用方法

殺そ剤は、園地が隣接する農家と共同で広範囲にわたって一斉に実施する事でより効果的に被害軽減が可能です。また、野ネズミの穴や通路穴に殺そ剤を投入する際には、土手や園内など雑草が茂っているところに多いので重点的に行いましょう。

○忌避剤による対策

樹幹への処理の際、アンレスは10倍液を樹幹部に塗布または散布しましょう。

▽苗木を植えた園地や、例年野ネズミの被害に悩まされている方は積極的に耕種的防除を行い被害軽減に努めましょう。

※今後は、本格的に収穫作業が忙しくなります。朝晩は冷え込みますので体調管理にも十分注意しましょう。ハシゴや機械を使った作業を行う際は、機械点検や身の回りの安全を確認したうえで作業を行い事故防止を心がけましょう。

JAで取り扱っている資材

商品名	使用方法	価格
ヤソチオン (5g×100袋入り)	小袋詰めをソ穴に投入するか、野ソの通路に設置する。	670円
ZP (1kg入り)	10aあたり10~40か所に適宜配置する。	1,080円
粉末ラテミン (500g入り)	穀粉、ドッグフードなどにまぶし、10aあたり250~750gの割合で、ねずみ穴や通路に投入。または、適宜配置する。	1,004円

直売所「林檎の森」

直売所副リーダー 三上翔平



いつも直売所「林檎の森」をご利用いただきありがとうございます。ご利用いただきありがとうございます。

たくさんのお客様でにぎわいを見せた嶽きみの店頭販売が9月末で終了しました。

一方店内にはたくさんの方の秋の味覚が出てくるようになってきています。

りんごはつがるが終わわり、トキ、早生ふじ、シナドルチエなどのりんごが多く出始めています。今年とれたてのおいしいりんごを買い求めにくるお客様がたくさんで、生産者がりんごをもってきてもすぐに売り切れてしまうほどりんごが人気です。

そのほかにも果物は、日面紅やゼネラルレクニーク、豊水、南水などの梨やシェインマスカットや藤稔、スチューベン、巨峰などのブドウもたくさん入ってきています。そのほかに旬の栗もたくさん入荷してきています。

キノコ類は天然物のマイタケや、

ハタケシメジ、さもだしも徐々にですが増えてきてそれらを買いに来られるお客様も多数いらっしゃいます。

寒くなってきたので、体調管理や風邪などの病気の予防としてニンニク、黒ニンニクも店内にたくさん陳列してあるのでは是非買い求めください。

りんごもぎや畑仕事の活力をつける為に会員さんのだしているおいしい惣菜や、お餅やいなり寿司も是非買い求めください。

そして会員の皆さんに引き続きお願いがあります。特に梨が多いのですが、たくさんの方が出荷しているため古いものが台の上で押しつぶされたりして傷口から雑菌が入ったりし、腐敗しているものがたくさん見受けられます。出荷の際に、腐敗しているものなど、傷みのあるものは引き取りの徹底をお願いいたします。

※引き取りがない場合は直売所で処分します。

直売所「林檎の森」の 今だけイチオシ商品

食欲の秋となり、秋の味覚が色々入荷している中、幻と言われるニンニクが入荷しました。

「兼平ニンニク」と言われており、昔鬼の好物として弘前市の鬼神社での宵宮で沢山売られていましたが、今では生産者も減り、数件農家で少量作られているだけで、まさに「幻の兼平ニンニク」と呼ばれています。

岩木在来種の兼平にんにくは、ニンニク特有の香りと味が強く、とてもパンチがあり、キリッとした辛味と強い香り。ニンニク好きな人も満足できる味わいです。そのため、ニンニクの香りをつける料理の時にはぴったりな品種となっています。

生のまま薬味として使うこともでき、スライスしたりみじん切りにして、パスタなどにも使いやすいです。

人気商品となっておりますので、お早めにお買い求め下さい。

1袋 **¥400** (税込み)



果実販売動向

販売課 田中瑠偉



毎日の農作業お疲れ様です。

9月の果実動向は、全般に数量減の単価高で推移しました。スイカ・モモ等の夏果実が単価高のまま終盤を迎え、売場はナシ・ブドウ等の秋果実へ移行されるなか、ナシについては昨年比約3割減で、ブドウについてはピオーネ等の黒系が昨年よりやや少ないものの、主力の露地シャインマスカットが昨年より2割程度多く、総体としては昨年並みの入荷量となっておりますが、引き合いが強く、堅調な販売となっております。リンゴについては青森県産サンつがるの販売を中心に、長野県産はシナノドルチエ・トキ・秋映が販売開始となりましたが、例年に比べ一段高い売価設定となっていることから、売場は広がりきらず、荷動きは鈍化しています。

おり、ミカンについては極早生が順調な生育でスタートしましたが、塩害や日焼けによる数量減が予想されます。

高値でスタートした産地市場は、中生種からは消費地市場と連動し、相場は落ち着いています。

当JAでは、皆様方のご協力により、きおうが9月11日で選果終了。サンつがるは9月23日で終了し、販売も9月末で終了することができました。

輸出については、きおうの香港向けや、スイートメロディの台湾向けから開始しています。

10月はいろいろな品種があることから、あらゆる情報を見極めて有利販売に努力しますので、今後もご利用のほどよろしくお願います。

今後、ナシ・ブドウについては引き続き数量減での推移が予想され、出遅れていたカキについては、昨年よりやや多い入荷量を見込んで

全農あおもりデータ 9/30

品 種	サンつがる	ト キ	きおう	その他	合 計
単 価 (円)	3,027	3,477	3,047	3,480	3,057
前 年 比 (%)	116	159	112	124	116
数量 (箱/10kg)	692,188	238	160,057	52,589	905,072
前 年 比 (%)	88	100	115	104	93

金融共済課からのお知らせ

いつも当JAをご利用頂き感謝申し上げます。

今年の年金友の会「相幸会」忘年会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、**開催中止**となりました。

また来年、会員の皆様に会えることを心から楽しみにしています。

